

ひまわり通信

令和元年 11月号

☆11月のグルメデー☆

握り寿司

日	月	火	水	木	金	土
					1日 書道教室 体操	2日 フラレインボー トランプ 体操
3日 休み	4日 詩吟・将棋 ゲーム	5日 トランプ ゲーム	6日 手芸クラブ 体操	7日 トランプ・将棋 カラオケ	8日 書道教室 ゲーム	9日 トランプ グルメデー ゲーム
10日 休み	11日 詩吟・将棋 体操	12日 トランプ カラオケ	13日 手芸クラブ ゲーム	14日 トランプ・将棋 ゲーム	15日 書道教室 体操	16日 トランプ ドッグセラピー 脳トレ
17日 休み	18日 詩吟・将棋 ゲーム	19日 トランプ ゲーム	20日 手芸クラブ 体操	21日 トランプ・将棋 体操	22日 書道教室 ゲーム	23日 トランプ ゲーム
24日 休み	25日 フラパステル 詩吟・将棋 カラオケ	26日 トランプ 体操	27日 手芸クラブ ゲーム	28日 トランプ・将棋 ゲーム	29日 書道教室 体操	30日 トランプ カラオケ

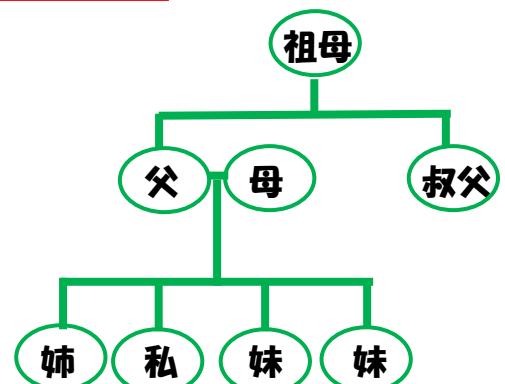
N家の物語 ~第一章~

皆さんは年を重ねてからの日々をどこで誰とどのように過ごしたいと思いますか？
「住み慣れた自宅で暮らしたい。」「この土地を離れたくない。」「息子や娘と一緒に暮らしたい。」「気ままなひとり暮らしが良いけど、家族の誰かは近くにいてほしい。」・・・

人によって様々に『想い』があると思います。それと同時にその人を支える家族の状況や環境、考え方も様々です。『その人の想い=家族の想い』とは限りません。そして家族の中でも『想い』は様々です。誰かの助けが必要になり何らかの選択を迫られた時、後悔のない人生の最期を迎えるためには何が大切で何が必要なのか？

私の家族・N家に起きた出来事を通して考えていきたいと思います。

N家の人々



祖母の状態と生活状況

94歳。夫は他界しており一人暮らし。自分にも他人にも厳しく絶対に弱音を吐かない人。子供は全員、他県で生活している。日々何人も来客があり、買い物の手伝いや差し入れをしてくれるなど、近所付き合いが非常に濃密な地域で暮らしている。家事全般や日常の生活動作は自分で行えており、介護サービスは利用していない。物忘れはあるが、祖母の一声で親戚一同凍り付く怖さは今も健在。

父の心配と決断

父は遠方で一人暮らしをしている祖母のことをいつも心配していました。今すぐに何かに困っている状態ではありませんでしたが、年に数回の帰省の度に「火の元の管理は大丈夫だろうか？」「急に体調が悪くなったらどうするか？」「物忘れが多くなっている気がする。」と心配はどんどん膨らみ、ついに父は定年退職と同時に故郷に戻り祖母と同居することを決断します。

大きく変わる生活を前に、父・母・私達姉妹で家族会議が開かれました。

- | | |
|------|---|
| 父 | 「父さんは故郷に戻ってばあさんと一緒に暮らすことにした。」 |
| 母 | 「母さんも定年したら一緒に暮らします。」 |
| 姉 | 「おばあちゃんは何て言ってる？今までずっと一人暮らしだったところに誰かと同居するとなると少なからず自分のペースが崩れると思うんだけど大丈夫かな？」 |
| 父 | 「息子が帰ってきて嬉しくないわけないだろ。」 |
| 私 | 「おばあちゃんはどうしたいのかな？」 |
| 父 | 「帰ってきてほしいに決まってるだろ！」 |
| 姉妹一同 | 「……。」 |
| 妹 | 「おばあちゃん亡き後は広島に帰ってくるの？」 |
| 父 | 「故郷に残って家を守りたいと思う。」 |
| 姉 | 「それじゃあ父さんと母さんが年をとった時に今と同じ状況を繰り返すだけじゃん。この問題を次の世代に残すことね！」 |
| 父 | 「お前ら90過ぎたばあさんが一人で暮らしてるとていうのに放つていて平気か。優しくないの！」 |

それぞれの意見を主張しただけの家族会議…決裂のまま終了です…。このような状態のまま、父は祖母の暮らす故郷へ帰っていました。

同居開始直後の様子

父が祖母との同居を始めて3ヵ月後のお正月に帰省しました。父と同居するまでは家事や身の回りのことを全て自分で行っていた祖母に変化が見られました。「お茶飲むか？」「俺がやっとくよ。」と何かと世話を焼く父の言葉に返事をするだけで、ほとんど自分で動きません。朝、起きてくると食卓の前に座って食事が出てくるのを黙って待っています。あんなに厳しかった祖母がずっとニコニコしています。洗濯物の干し方やお茶の葉の捨て方にまでこだわりがあったのに、全て父に任せていることに、驚くと同時に危機感を覚えました。「おばあちゃん、何もしなくなってしまう…。完全に意欲と能力が衰えてる…。このままじゃできることもできなくなってしまう！！」そう感じながらも、‘私が一緒に生活しているわけではないから口出ししてはいけない’という思いから何も言えずにいました――。

これから祖母はどうなっていくのでしょうか!? N家の物語、次号へ続きます！！

ふれあいセンター協同
デイサービスセンターひまわり ふれあいセンター協同 2階
安佐南区西原九丁目8-22 電話：874-4085 FAX：874-4093 管理者：鬼塚
●写真の掲載につきましてはご利用者様・ご家族様の了解を頂いています。
昼食付無料体験利用実施中！！☆お気軽にお問合せください☆